

2020年7月17日

大阪科学・大学記者クラブ 御中

(同時資料提供先：大阪市政記者クラブ)

大阪市立大学

医学部附属病院看護師の新型コロナウイルス感染について

大阪市立大学医学部附属病院の看護師が、2020年7月17日（金）に新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

【看護師に関する情報】

年代・性別 20歳代、女性

勤務地 大阪市立大学医学部附属病院（大阪市阿倍野区旭町 1-5-7）

【経過・症状】

7月11日（土） 夜勤（患者との接触あり）

7月12日（日） 夜勤明け（患者との接触あり）

7月13日（月） 休日。嗅覚異常を自覚、大阪市内の耳鼻科医院を受診。

7月14日（火） 日勤（患者との接触あり）

7月15日（水） 日勤（患者との接触あり）

7月16日（木） 日勤（患者との接触あり）

症状は改善したが嗅覚異常が残るため当院感染制御部に相談、翌日にPCR検査を受けることとなる。

7月17日（金） PCR検査、陽性判明（18時頃）。現在は当院に入院中。

【職場での濃厚接触者】

勤務時はマスクを着用していたため患者の濃厚接触者はない。勤務中に一緒に食事をした同僚は数名。当該接触者はPCR検査を実施予定。

【病院の対応】

接触が考えられる患者30名にPCR検査を実施中。当該看護師が勤務していた病棟は、7月18日（土）～31日（金）までの2週間は閉鎖し、新規の入院患者は受け入れません。また消毒も実施します。なお、外来診療は通常通り行います。

お問い合わせ先

大阪市立大学 医学部附属病院事務局 庶務課

TEL：06-6645-2710・2711